

七ヶ宿中

「わらじで歩く」お手伝い



これがイチオシ

ユニーク 体験型掲示板

学校の保健室前にある掲示板はユニークです。養護の先生が新型コロナの感染防止策や熱中症予防など、オリジナルの掲示物を作ってくれます。クイズやおみくじ形式だったり、一部を動かせるようになっていたりしています。

「体験型の掲示板で、実生活に生かせる情報を提供したい」という先生の思いが込められています。いつも完成度が高く、来校してくださる地域の方々も楽しみにしています。自分や大切な仲間の健康を守るため、掲示板で学んだことを実践していきます。

学校名 七ヶ宿町立七ヶ宿中学校
所在地 七ヶ宿町瀬見原1
創立 1997年
電話 0224(37)2360
校長 山下 正人
生徒 27人

七ヶ宿町は古くからの街道の町で、「わらじで歩く七ヶ宿」が夏に行われます。七ヶ宿スキー場から町役場まで、旧街道沿いに約12キロを歩きながら、歴史ある雰囲気や自然を楽しむ40年近く続くイベントです。毎年全国から約500人が集まり、旅装束やわらじ姿で参加する人もいます。

私たち七ヶ宿中学校の生徒もスタッフとして、参加した方々をおもてなしします。先導係は町の観光キャラクター「ゆり太郎」の姿と一緒に歩いて、町の案内やPRをします。



2019年8月下旬の「わらじで歩こう七ヶ宿」の様子

編集委員 佐藤希歩（2年）日野千隼（1年）
指導教員 渡部亮太、五嶋理

参加者の先導や茶屋係

をしたり、わらじを履くのを手伝ったりします。

茶屋係は冷たいお茶や漬物をふるまいます。「関所」では昔の町娘やお姫様の衣装を着て、お迎えをする人もいます。

一緒に活動する人から地域の話を知ったり、道沿いの家の人たちから応援してもらったりと、町の温かさを感じられるイベントですが、新型コロナウイルスの影響で、今年も昨年に続き中止になりました。来年こそ皆さんをお迎えできたら、今年の分まで楽しい行事にしたいと思っています。

わが校わがまち スクール通信



次回は
川平小（仙台市）
栗原西中（栗原市）

仲良く校内ボランティア

中新田小

あいさつ運動やそうじ

中新田小学校では「みんな元気で笑顔がいつぱいの中小」を目指し、「誰かのために」を合言葉に6年生が校内ボランティアに取り組んでいます。中でも自慢の三つを紹介します。

一つ目はあいさつ運動です。担当の人は朝早く登校し、目を見て元気よくあいさつをします。毎日続けることで、あいさつが増え、元気な声になりうれしいです。

二つ目はそうじボランティア。窓ふきや体育倉庫の整頓、校庭の側溝そうじや除草作業など、

きれいにしたい場所を休み時間にそうじします。おかげで学校のいろいろな場所が、きれいに使えます。

三つ目は低学年への読み聞かせです。興味を持ちそうな本を選び、練習してから朝読書の時間に教室に向かいます。「今度行くからね」と伝えると「やったー!」「いつ、いつ?」と言ってもらえて温かい気持ちになります。

これからも笑顔あふれる中小にするため、「誰かのために」を合言葉に頑張ります。



「誰かのために」を合言葉にさまざまなボランティア活動が続いています



編集委員 氏家美音、先崎璃空、早坂月光、青砥柚、佐々木七音、清宮ひかる子（6年）
指導教員 鈴木達也、鹿野有沙



これがイチオシ

伝統芸能 火伏せの虎舞

中新田地区には毎年春の「初午まつり」で披露される「火伏せの虎舞」という伝統芸能があります。奥羽山脈から吹く強風で火事が多かったことから、風をしずめるため650年以上前に始まったそうです。虎舞保存会を中心に小中学生に受け継がれています。

「初午まつり」では、華やかな山車とともに練り歩いて防災と家内安全を祈願します。おはやしに合わせてダイナミックに踊る姿が魅力的です。これからも多くの人に虎舞を見てもらい、中新田の伝統芸能を広めていきます。

学校名 加美町立中新田小学校
所在地 加美町西田四番7の1
創立 1873年
電話 0229(63)2038
校長 石塚 靖明
児童 414人